

おやこミnote

2011



【イクメン大賞】フォトの部
最優秀賞受賞作
「お風呂の後のひととき」

つなぐ、ささえる、はぐくむ。 それがいしかわ子育て支援財団。

子どもを生み育てやすい環境づくりの一層の推進を図るため、平成8年に設立された、いしかわ子育て支援財団。地域・企業・個人をつなぎ、そして支えながら子どもと子育てを社会全体で応援する仕組みづくりに努めています。

平成22年8月、石川県では平成26年度までの子ども・子育て支援策の具体的な行動計画である「いしかわエンゼルプラン2010」が策定されました。当財団は新プランに基づいてワークライフバランスなどの施策に重点的に取り組むとともに、親の育児支援から子どもの健全育成、独身者の結婚サポートまで、時代が求める支援活動を積極的に推し進めています。

いしかわエンゼルプラン2010

- 視点Ⅰ 次の子を生み育てたくなる環境をつくる
- 視点Ⅱ 子どもの心身の育ちを保障する
- 視点Ⅲ 未婚化・晩婚化の流れを変える



C O N T E N T S

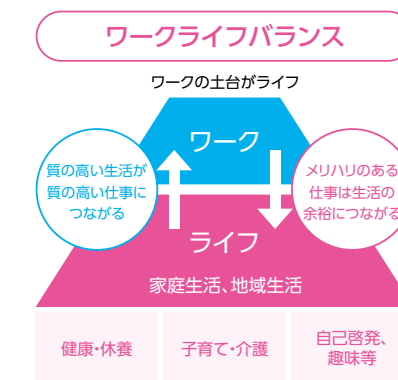
ワークライフバランスが浸透中	3
子育てに優しい社会へー企業とスクラム プレミアム・パスポート事業	6
子どもの育ちをあたたく支える 赤ちゃん登校日事業 3世代ジェネレーションギャップ解消事業 小児病棟訪問事業 「赤ちゃんの駅」設置促進事業 優良図書プレゼント事業	8
地域も企業もみんなで子育て 日本海・子育て支援メッセ	10
ふくらむ夢 広がる未来 いしかわ子ども交流センター	11
つなぐ喜びと出会う幸せと しあわせ発見事業	12
子育て支援の担い手を育成 ノーバディーズ・パーフェクト ファシリテーター養成事業 子育て応援エンゼルネット事業 ファミリー・サポート・センター充実強化支援事業 男性保育士・幼稚園教諭研修会 ふるさと子育て応援活動支援事業 放課後児童クラブ指導員研修事業 子育て支援事業モニター調査	14
情報発信・サポート いしかわおやコミ!.net 育児サポーター派遣事業	15
ふるさといしかわ子育て応援ファンド事業 エンゼル・サポート事業	16

ワークライフ バランスが 浸透中

いしかわエンゼルプラン2010では、「ワークライフバランスの推進」が重点項目の一つに位置づけられています。仕事と家庭生活の両立に向けて、動きが加速しています。

ワークライフバランスとは

ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」という意味。プライベートが充実すれば、仕事にもいい影響が出て好循環が生まれてくる、だから制度や働き方を見直そうという考え方です。いしかわ子育て支援財団では平成22年9月に「ワークライフバランス推進室」を開設。推進拠点として、企業や県民への働きかけに努めています。



もちろん仕事は大事だけど、子どもとふれあう時間も欲しい。うまく両立したいなあ…



仕事と家庭生活の両立に 企業の理解と努力を

ワークライフバランスは従業員のためばかりではありません。有能な人材の確保・定着、労働意欲の高揚による生産性の向上など、企業にとっても、人事・経営面で多くのメリットが期待できます。いしかわ子育て支援財団では企業の取り組みを促すために様々な事業を実施しています。

一般事業主行動計画の策定支援

「一般事業主行動計画」とはワークライフバランスを実現するために企業が個別に定める計画のこと。各社の実情やニーズに基づいて、ノー残業デーや育児休暇制度などを盛り込んで作成します。本県では条例により、従業員が100人以上の企業に策定が義務づけられています。また、従業員50～99人の企業にも平成23年4月から積極的努力義務化、平成25年4月から義務化されます。

コンサルタントの養成・派遣

ワークライフバランスの取り組み方や課題解決策、一般事業主行動計画の策定方法などをアドバイスする専門コンサルタントの養成やコンサルタントの派遣を随時行っています。

普及啓発DVD

ワークライフバランスに取り組むメリットなどを紹介するDVDを制作し、企業の経営者や人事労務担当者などの意識改革を促します。



身近なところから ワークライフバランスの大切さを考えるきっかけに

アンケート調査(石川県労働局、平成21年度)によると、ワークライフバランスという言葉や意味を知っている人は、使用者側29%、労働者側12%であり、まだまだ認知度が低いのが現状です。いしかわ子育て支援財団では、身近なところからワークライフバランスの大切さを考えるきっかけになるよう、様々な啓発事業を展開しています。

「イクメン大賞」募集事業

男性の育児参加を促すために、積極的に育児に取り組む男性の体験エッセイや写真を募集。審査により「イクメンエッセイ」「イクメンフォト」両部門の優秀者を決定し、入選作を作品集に掲載しました。



エッセイ 本人の部

最優秀賞
「イクメンの醍醐味」 beans様
優秀賞
「すごい!」男性育児休業 のんのパパ様
自称イクメンパパの奮闘日記 磯辺吉晃様

エッセイ 家族・同僚・友人の部

最優秀賞
スーパーヒーローなパパ★ パパ!いつもありがとう!様
優秀賞
イクメンに負け越し中 落とし物がかり様
ぼかぼか 庄田尋子様

フォトの部

最優秀賞
お風呂の後のひととき 水野薫様
優秀賞
玉ねぎ刻むパパと莉都 池端都様
兄ちゃんのおひざおいで 高島なり子様

キャッチフレーズ募集・選定

ワークライフバランスに関するキャッチフレーズを初めて公募。全国から262点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選出しました。選ばれた作品は啓発ポスターや商品など、様々な場面で使用されています。

ワークライフバランスははじめませんか。

つながってる、
家族の時間と
いい仕事



最優秀賞(採用作品)

朝倉修様(札幌市)

優秀賞

「子育ては パパママ協力 職場の理解から」
小寺光雄様(名古屋市)

「バランスよく 仕事も 趣味も 子育ても」
下村ゆき子様(金沢市)

「仕事じかん+子育てじかん=幸せじかん!」
谷口千恵子様(津幡町)

「いい夫婦、仕事も育児も分け合って」
野本文子様(加賀市)

「県民育児の日」啓発ポスターの制作

毎月19日の「県民育児の日」をPRするポスターを制作し、各市町の保育所や児童館などで周知しています。ポスターには、県内の未就学児約400名の子どもたちに参加してもらっています。



ワークライフバランス啓発商品の 製作・販売

サークルKサンクス及び東京ストアーと共同で、パッケージにキャッチフレーズなどをデザインしたパンなどを製作し、販売しました。また、北國銀行でも各店舗の大型ディスプレイで県や財団のワークライフバランスの取り組みを放映しています。



レシートを活用した「県民育児の日」のPR

子育ての大切さやワークライフバランスについて考えるきっかけづくりとして制定された「県民育児の日」をPRするため、スーパーなどの買い物レシート裏面に「県民育児の日」やワークライフバランスキャッチフレーズなどをデザイン。同時に、レシートを応募券として抽選で優良図書や電子書籍リーダーがもらえるプレゼントキャンペーンを行いました。



次の子を生み育てたくなる
環境をつくる



次の子を生み育てたいなる
環境をつくる

子育てに優しい社会へ —企業とスクラム

プレミアム・パスポート事業の開始から6年目を迎えました。
全国で注目されたユニークな取り組みは少しずつ進化しながら県民の暮らしに着実に浸透してきています。

プレミアム・パスポート事業

プレミアム・パスポート事業は、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭に協賛企業が店舗等での割引や特典などを提供する事業で、「多子世帯の経済的負担を少しでも和らげたい」、「子育てを社会全体で応援したい」との思いから、県・市町の協力のもとに全国に先がけて平成18年1月にスタートしました。

事業開始から6年目を迎え、対象となる家庭のほぼ全てがプレパスを取得しており、協賛店舗数もチェーン展開する飲食店への働きかけなどにより順調に増加しています。

また、アンケートなどにより、利用家庭や協賛企業の皆様のご意見をいただき、より利用しやすく、参加しやすい事業になるよう努めています。

使える場所も増えてるし、
どんどん便利になってる。
毎日の暮らしの
強〜い味方!

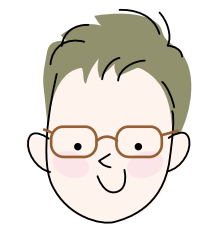


よりよい事業とするために

プレパスを利用家庭と企業双方にとってより魅力あるものとするため、平成23年1月より制度の一部を改正しました。



プレパスもどんどん
バージョンアップ
してるんだね



第3子 妊娠中から

従来は18歳未満の子どもが3人以上いる世帯を対象としていましたが、第3子を妊娠中からプレパスを持つことができるようになりました。

改正

新プレパスは 写真入り

協賛企業の要望により、パスポートには利用者本人の写真の貼付が必要となりました。

改正

メールマガジン を配信

プレパス利用世帯に向けて、協賛店のセールやイベントなどのお得な情報等をメールマガジンで定期的に配信するサービスもスタートしました。

改正

対象世帯以外の方にも

プレミアム・パスポートの対象外の方でも参加できるサービスも好評を博しています。「お店めぐりキャンペーン」は県民なら誰でも応募できるプレゼント企画。プレパス協賛店のレシートで応募すると、抽選で賞品が進呈されます。また、「プレパス商店街」はプレパス協賛店に関する情報サイトです。多彩な情報が掲載され、プレパス協賛店のセールや新商品情報なども提供されています。

チャイルド・プレミアム事業

地域全体で、とりわけ職場で子育てへの理解を深めてもらうとともに、ワークライフバランスについて考えるきっかけづくりにしてもらいたいと、石川県は毎月19日を「県民育児の日」に指定。この日に協力店を利用する際、子どもを一人以上連れていくと特典が受けられる「チャイルド・プレミアム事業」を展開しています。

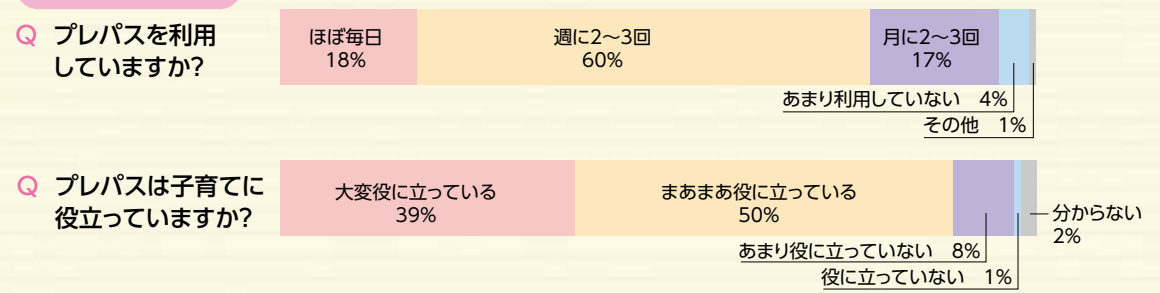


ふるさとしかわ
子育て応援ファンド
事業

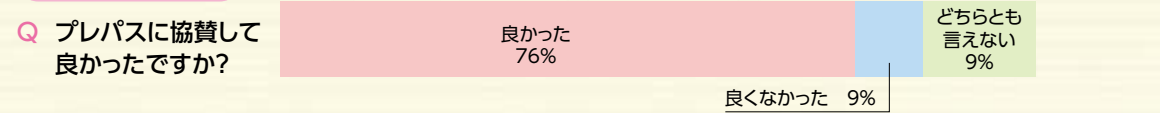


利用者・協賛企業 アンケート結果

利用者アンケート



協賛企業アンケート





ドキドキしながら抱っこ。
じっと見つめたら
笑ってくれたよ。
赤ちゃんってカワイイ!



平成22年度に行われた赤ちゃん登校日には小学生から中学生までの児童・生徒250名が赤ちゃん
とふれあい、人との関わりや思いやりの心、命の
大切さなどを学びました。
写真左上／能美小学校(小松市)
写真左下／西荒屋小学校(内灘町)
写真中央／緑丘中学校(珠洲市)
写真右／外日角小学校(かほく市)

子どもの育ちを あたたかく支える

いしかわ子育て支援財団は、子どもの健やかで心豊かな
成長を願って、赤ちゃん登校日事業など多彩な取り組みを進
めています。

赤ちゃん登校日 事業

コミュニケーション力が弱くなっている
現代の児童・生徒に、赤ちゃんとのふ
れあいを通じて人間関係の築き方を学
んでもらう赤ちゃん登校日事業。平成
22年度は新たに能美小学校(小松市)、
緑丘中学校(珠洲市)、外日角小学校(か
ほく市)、西荒屋小学校(内灘町)の4校
で実施されました。

ふるさと いしかわ
子育て応援ファンド
事業

フォーラムも開催

プログラムの理解と啓発を図るフォーラムを開催
しました。赤ちゃん登校日の提唱者である鳥取大・
高塚人志准教授や金沢市立田上
小・山下良夫校長の講演、また実際
に体験した教員や児童の親などに
よるシンポジウムが行われました。



3世代ジェネレーション ギャップ解消事業



昔とは様変わりした子育てに戸惑
うおじいちゃん・おばあちゃんのため
に、手引書「いしかわ子育てガイド」を
作成し、「子育て講座」も開催。世代間
の子育て意識のギャップ解消をめざ
します。

ふるさと いしかわ
子育て応援ファンド
事業

小児病棟 訪問事業

育児サポーターを定期的に小児病
棟へ派遣し、絵本の読み聞かせや手遊
びを行うことで、長期入院している子
どもを励まし、親子のストレスなどの軽
減を図ります。

エンゼル・サポート
事業

「赤ちゃんの駅」 設置促進事業



「赤ちゃんの駅」とは、乳幼児を持
つ家族が安心して外出できるよう授
乳やおむつ替えなどが気軽にできる
場を設けた施設のことです。パソコンや
携帯電話からも検索できます。登録
施設は随時募集しています。

ふるさと いしかわ
子育て応援ファンド
事業

子育て家庭優良図書 プレゼント事業

レシート裏面を利用した「県民育児
の日」などのPRに併せて、県推奨の優
良図書(絵本)や電子書籍リーダーを
抽選でプレゼントするキャンペーンを
実施しました。

エンゼル・サポート
事業

地域も企業も みんなで子育て

日本海・子育て 支援メッセ

恒例の「日本海・子育て支援メッセ」を平成22年度も開催。子育てを支援する県内約120の団体や企業の参加・協力を得て、11月6日に金沢市の県産業展示館で行われました。趣向を凝らしたブースでは団体や企業が日頃の活動やサービスなどを紹介。またステージイベント、育児用品のフリーマーケット、飲食コーナーのほか、移動水族館やボンネットバスなどの展示や運行、セグウェイ試乗体験なども行われ、親子連れ約7000人が多彩な催しを楽しみました。



消防車にも
のったんだ!



驚くべき学びの世界展INいしかわ

発見や創造性を大切にする幼児教育法として世界的に注目される「レッジョ・エミリア・アプローチ」。イタリア北部の小さな町レッジョ・エミリアで生まれた革新的な取り組みを、石川県庁行政庁舎19階展望ロビーで展示紹介、併せて東大大学院の佐藤学教授の講演会も開催しました。



いしかわ 子ども交流センター

いしかわ子ども交流センターは、子どもたちの健やかで心豊かな育ちを応援する施設です。いしかわ子育て支援財団が運営しており、地域の子育て支援拠点として多彩な活動を行っています。



しごと
たいけん
アナウンサー
になったの!



金沢

子どもしごとたいけん

恒例の人気イベント。2日間で約1000人の幼児・小中学生が参加しました。「ハローワーク」で仕事を探し、銀行員や店員など様々な仕事を疑似体験。給料としてもらった模擬通貨を使って社会経済の仕組みを学習しました。

小松

尾小屋鉄道で使われていた車両が走る「なかよし鉄道」があります。水・土・日・祝日に運行しています。



七尾

子どもに大人気の新幹線・パトカー・消防車のバッテリーカーをイベントの際に貸し出しています。



金沢

いしかわ子ども交流センター

〒921-8101
金沢市法島町11-8
TEL:076(243)6501
FAX:076(243)6774

平成24年
プラネタリウムが
リニューアルオープン



小松

いしかわ子ども交流センター 小松館

〒923-0302
小松市符津町念佛3-1
TEL:0761(43)1075 FAX:0761(43)1076



七尾

いしかわ子ども交流センター 七尾館

〒926-0024
七尾市古屋敷町カ10-3
TEL:0767(53)3396 FAX:0767(53)3397

ふくらむ夢 広がる未来

つなぐ喜びと 出会う幸せと



しあわせ発見事業

結婚したくてもなかなか出会う機会のない独身男女の縁結びを行う事業。平成17年にスタートし、これまでに多くのカップルを成婚に結びつけてきました。様々な情報を頼りに仲介を行うのが、ボランティアで結婚相談に応じるアドバイザー『縁結びist』。養成講座を修了して縁結びistに登録する人は現在約250人います。

未婚化・晩婚化傾向は少子化の要因のひとつと言われています。いしかわ子育て支援財団は、しあわせ発見事業を通して出会いの場の提供から成婚までを後押ししています。

タウンミーティング

独身男女の出会いのイベント。単なるお見合いパーティではなく、体験型イベントを通じてお互いの理解を深めてもらうなどの趣向が盛り込まれ、応募が定員を上回ることも多い人気催事です。平成17年からこれまでに45回開かれて多くのカップルが誕生しています。平成22年度は計9回開催しました。

平成22年度に行われた タウンミーティング

第37回	7月4日	加賀市
第38回	8月29日	七尾市
第39回	9月12日	内灘町
第40回	10月3日	小松市
第41回	10月23日	かほく市
第42回	11月14日	金沢市
第43回	11月21日	能美市
第44回	11月23日	能美市
第45回	1月30日	金沢市



企業向け 婚活サポート事業

ふるさと*いしかわ*
子育て応援ファンド
事業

手取フィッシュランドで開かれたタウンミーティングは、職場単位3人1組での応募が条件。職場の同僚と参加できる気安さが受け、103人が交流を楽しみました。



縁結びist交流サロン

縁結びistの活動拠点、相談窓口。いしかわ子育て財団のある県立総合看護専門学校内にあり、縁結びist相互の情報交換や相談者との面談の場となっています。金沢のほか七尾、小松、輪島の3地区にサテライトを設置。県内はもとより遠方からも問い合わせが相次いでいます。

感謝状贈呈

これまでに5組以上の成婚カップルを誕生させた『縁結びist』の方々に感謝状が贈られました。

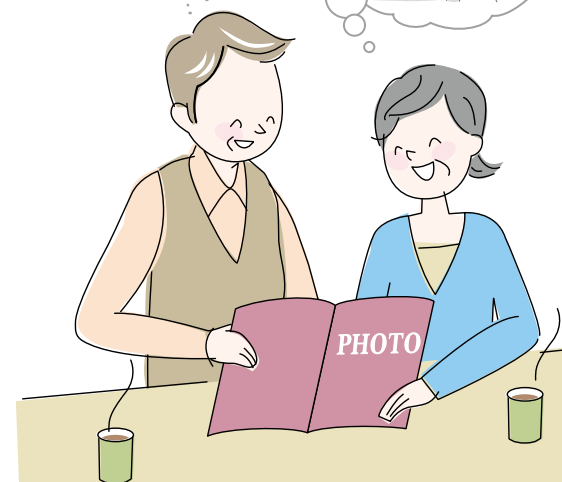
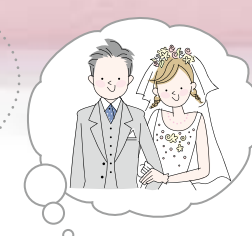


●『縁結びist』 表彰者のみなさん

・小橋 徳子	七尾市
・田川 富美子	金沢市
・谷 千草	かほく市
・谷村 光子	金沢市
・西野 すみ	金沢市
・松田 和枝	七尾市
・南川 貞夫	小松市
・南川 真澄	小松市
・吉田千代喜	金沢市

(敬称略)

幸せなカップルが
どんどん生まれる
といいね



子育て支援の担い手を育成

ノーバディーズ・パーフェクト ファシリテーター養成事業

ノーバディーズ・パーフェクトプログラムとは、子育てに悩む親の支援のためにカナダで生まれたもので、子育てについて自らが抱える悩みや不安などを参加者同士がグループで話し合い、自分にあった子育ての仕方を学ぶプログラムです。当事業では、プログラムの進行役となるファシリテーターの養成研修を県内で実施しました。

エンゼル・サポート
事業

子育て応援 エンゼルネット事業

子育てに関するボランティアに対して擬似通貨「エンゼル券」をやりとりし、地域で子育て応援の輪を広げ、定着させることを目的としています。金沢・七尾・白山の3地区で実施。



左から、
金沢・七尾・白山の
各市で使われている
エンゼル券▶

ファミリー・サポート・センター 充実強化支援事業

ファミリー・サポート・センターとは、子どもの送迎や一時預かりなどの援助を希望する人とそういった援助を行ってもよい人の双方が会員となって運営される会員制の互助組織です。現在は金沢、小松など県内9市町で運営されています。全県下でのセンター設置に向けて、体制整備やサービス強化のための研修などを行います。



男性保育士・ 幼稚園教諭研修会

女性の割合が高い保育現場で活躍中の男性保育士や男性幼稚園教諭を対象とした研修会。現場での課題や問題点について学び、情報交換しながらスキルアップをめざすもので、平成22年度はワークショップ形式なども盛り込み実施しました。



ふるさと子育て 応援活動支援事業

子育て支援に効果的なアイデアを県民や企業から募り、採用された事業に対して活動費(10万円限度)を助成します。平成22年度は子育て支援に取り組む団体9事業に、父親が主体となって行う活動には10事業に助成しました。

ふるさといしかわ
子育て応援ファンド
事業

放課後児童クラブ 指導員研修事業

放課後児童クラブで子どもの世話をする指導員の資質向上や定着を図る研修会を実施しました。

子育て支援事業 モニター調査

利用者のニーズに応じた子育て支援を提供していくために、子育て中の親からモニターを募集し、選ばれた100人に、アンケート調査などを行い、県内で実施している子育て支援事業に対する意見や提案を行ってまいります。

いしかわおやコミ!.net

イベントカレンダーや、動画配信などのコンテンツも充実!
育児情報や感染症情報、交流やメール相談など役立つ情報が満載です。

<http://www.i-oyacom.net/>

役に立つ情報が
いっぱい掲載されてて
とっても便利だね!



メールマガジン

各種イベントや感染症情報などを定期的に配信しています。携帯電話でもご利用いただけます。

育児用品 リサイクルショップ

育児用品に特化したフリーマーケットを定期的に開催しています。

子育てメール相談

専門相談員がメールで子育てに関する相談に応じます。

※緊急を要するもの、生命に関わるもの、医療・健康上のご相談は、専門機関にお尋ねください。

子育て便利帳

県内の子育て関連情報を網羅。県内の保育所・幼稚園、小児科などの施設一覧もあります。

貸出&ライブラリー

遊具や教材を貸し出しています。



ミルクカー
(金沢信用金庫より贈呈)

イベント情報

多彩な情報をカレンダー形式で発信しています。イベント主催者からの情報掲載申し込みもウェブ上で行えます。

子育て支援 人材データベース

子育てに関する専門家情報を集めたデータベース。講師などをお探しの際にご活用ください。

育児サポーター派遣事業

保育士や幼稚園教諭、看護師などの資格を持つ育児サポーター(当財団登録者)を、ご希望に応じて派遣します。

わくわく子育て教室

保育園・幼稚園での育児教室のお手伝い

「親業」モデル人形劇派遣

親業について学ぶ人形劇を出前上演

イベント保育室

臨時保育を行う際の保育士の派遣

育児サークル支援

地域の自主的な育児サークルの活動を支援

おはなし広場

大型イベント広場での育児教室を開催

さすが、子育てのプロ!
頼りになるし、
出張してもらえるし、
大助かりだわ!



県民みんなが応援団

ふるさといしかわ 子育て応援ファンド 事業

「ふるさといしかわ子育て応援ファンド」は県内6金融機関の協力を得て運営されています。子育て支援を目的とした金融商品(定期預金など)を県民の皆様にご購入いただき、その運用益の一部が寄付され、子育て支援に充てられています。多彩な子育て支援活動を資金面で支える事業です。

協力金融機関

北國銀行 金沢信用金庫 のと共栄信用金庫
北陸信用金庫 鶴来信用金庫 興能信用金庫

平成22年度実施事業

- プレパスお店めぐりキャンペーン
- チャイルド・プレミアム普及啓発事業
- いしかわイクメン大賞募集事業
- 赤ちゃん登校日事業
- 3世代ジェネレーションギャップ解消事業
- 「赤ちゃんの駅」設置促進事業
- 企業向け婚活サポート事業
- ふるさと子育て支援活動応援事業

企業が取り持つ県民の思い

エンゼル・サポート 事業

県民が日々の暮らしの中で手軽に子育て支援に参加できるようにと始まった事業。子育て支援に積極的な企業と連携し、ポイントや募金などで企業が取りまとめた寄付金を子育て支援に活用します。協力企業は随時募集しています。

■認定した取り組み

株式会社 北國銀行 北國ポイントサービス「ハッピーズ」を活用した寄付

株式会社 東京ストアー 買物ポイントサービスを活用した寄付、募金箱の設置

株式会社 サークルKサンクス 募金箱の設置

株式会社 サンクス☆ホクリア 募金箱の設置

平成22年度実施事業

- 小児病棟訪問事業
- ノーバディーズ・パーフェクト ファシリテーター養成事業
- 子育て家庭優良図書プレゼント事業

oyacom note

[おやコミnote] 平成23年3月発行 (掲載されている内容は平成22年3月1日現在のものです。)

財団法人いしかわ子育て支援財団

〒920-8201

金沢市鞍月東2丁目1番地

(石川県立総合看護専門学校内)

TEL: (076) 255-1543

FAX: (076) 255-1544

[URL] <http://www.i-oyacom.net/>

[E-mail] info@i-oyacom.net



おやコミトップページ



【アクセス】

JR金沢駅 西口バスのりば6番より「中央病院前」下車すぐ、
または「県庁前」下車徒歩8分